

## 平成 23 年度 第 1 回大垣市地域福祉計画策定・評価委員会 会議結果

日 時：平成 23 年 11 月 18 日（金） 13 時 30 分～15 時 15 分

場 所：市役所 3 階 合同委員会室

議 題：1 大垣市地域福祉計画の平成 22 年度事業実績について  
2 大垣市地域福祉計画の平成 23 年度事業計画について

委 員：出席者 19 人

池永輝之（委員長）

岡本敏美（副委員長）、山田武司、五十嵐和夫、津汲陽子、和田育穂、臼井憲治、  
山岡泰利、北川久皓、富田重幸、高橋和子、槌谷祐哉、森 淳子、安田典子、  
林 文雄、成瀬重雄、田中美穂、西田松代、平田利男

委 員：欠席者 5 人

村田 務（副委員長）、國枝義見（副委員長）、久野典章、山田明子、江森満壽子

事務局：9 人

（市） 富田啓泰（福祉部）、中山恵二（社会福祉課）、渡邊慎仁（高齢介護課）、  
片岡博（子育て支援課）、説田誠（社会福祉課）、中島千景（社会福祉課）、  
島田定一（社会福祉課）

（社協）早崎正人、三輪広美

事務局  
社会福祉課長

それでは定刻になりましたので、ただいまから平成 23 年度大垣市地域福祉計画策定・評価委員会を始めさせていただきます。

なお、大垣医師会理事の和田先生につきましては、少し遅れるとの連絡がありましたのでよろしくお願いします。

それでは、始めに、大垣市福祉部長の富田が挨拶を申し上げます。

福祉部長

皆さん、こんにちは。福祉部長の富田でございます。

本日は、大変お忙しい中、池永先生をはじめ委員の皆様方におかれましては、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の議題は、平成 21 年 3 月に策定しました第二次地域福祉計画の 22 年度事業実績並びに 23 年度事業計画につきまして、事務局の方から説明させていただきますのでよろしくお願いします。

また、事業内容につきまして、皆様方の幅広いご意見等を伺い、基本目標として掲げております、「創り出そう一人ひとりが住みつづけたいぬくもりの大垣」に少しでも近づけるよう取り組んで参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局  
社会福祉課長

それでは、続きまして、策定・評価委員会の池永委員長様からご挨拶をよろしくお願いたします。

委員長

皆さん、こんにちは。今、福祉部長さんの方からお話しがございましたように、第二次地域福祉計画は平成21年3月に策定しまして、ちょうど中間点を過ぎようとしているところでございます。ただいまの取り組みが展開されていることは、皆様方よくご承知のとおり、その取り組みの実績を今日は忌憚のない皆様方のご意見を賜りながら、23年度事業計画にそれを反映させていきたい、そういうような趣旨で今回参りたいと思っておりますので、どうぞ皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

事務局  
社会福祉課長

ありがとうございました。  
それでは本委員会の設置要綱の規定に基づきまして、池永委員長に議事進行をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

委員長

かしこまりました。  
議事に入る前に本日の委員の出席状況について、皆様方にご報告いたします。  
委員定数24名中、出席委員は18名でございます。先ほどございましたように、医師会の和田先生は少し遅れるというお話を伺っております。大垣市地域福祉計画策定・評価委員会設置要綱第6条第3項の規定に基づき、出席委員が過半数を満たしておりますので、本委員会は無効に成立している事をご報告いたします。  
次に本日の委員会について、傍聴希望者の方はおられるでしょうか。

事務局  
社会福祉課長

傍聴希望はありません。

委員長

次に、代表者の変更により、今回から新たに7名の方に委員として加わっていただいております。この場をお借りしてご報告いたします。本来、委員の皆様方一人ずつご挨拶をいただくのが本意ではございますが、時間の関係上、お名前のご紹介のみとさせていただきますので、ご了解ください。  
大垣市民間保育園連合会 会長の 津汲 陽子様  
大垣市PTA連合会 会長の 久野 典章様  
本日、久野委員はご都合によりご欠席でございます。  
NPO法人配食サービスなでしこ理事の 臼井 憲治様  
岐阜経済大学マイスター倶楽部 代表の 北川 久皓様  
大垣市連合婦人会 評議員の 山田 明子様  
山田委員もご都合によりご欠席でございます。  
大垣市青年のつどい協議会 会長の 槌谷 祐哉様  
岐阜県西濃保健所健康増進課 課長の 林 文雄様  
以上でございます。

- 議案第1号 「大垣市地域福祉計画の平成22年度事業実績」について
- 議案第2号 「大垣市地域福祉計画の平成23年度事業計画」について

委員長

それでは議事に入ります。  
議案第1号「大垣市地域福祉計画の平成22年度事業実績」について、並びに議案第2号「大垣市地域福祉計画の平成23年度事業計画」について、ご審議をお願いいたします。まず事務局から両議案について、一括してご説明をお願いいたします。

事務局  
社会福祉課  
説田係長

(説明)

社会福祉協議会  
局長

(説明)

委員長

ありがとうございました。  
ただいまご説明をいただきましたが、皆様方からご意見・ご質問等を承りたい  
と思います。どうぞよろしくお聞しいたします。

委員

2点ほどお伺いしたいことがあります。まず1点目は、不幸な災害があつてま  
だ復興するのはほど遠いような状況ではありますが、災害時の要支援者の情報の  
共有化の推進ということで、個々で行っていた市・社協との申込等が統一化され  
たのはいいですが、最新のデータでないともまずいのでは。登録したからもうそれ  
でいいという訳でもなく、常に新しいものに書き換えが必要であるが、これから  
どのように行っていくのかお聞きしたい。

事務局  
社会福祉課  
説田係長

災害時要援護者の台帳情報の更新の件ですが、ご指摘いただいたとおり、一番  
古い方でも平成19年から行っておりますので、今ちょうど5年が経過したところ  
であります。例えば端的に言いますと、状態が変わっているとか、災害台帳に  
はご本人様の情報ご住所とか生年月日は変わりませんが、緊急時には連絡先とい  
うことで2人ほど伺っていたり、任意事項でご自身の状態や不安な面を記載して  
いただく欄がありまして、当然ながら、そういったことも内容が変わっているか  
もしれません。情報の更新をしていく必要はあると考えているが、今のところ5  
年経過して情報の置き換えはなかなかできてない状態でございます。

ただし今回、先ほどのご説明の中で、65歳以上のひとり暮らし高齢者の方にか  
ぎってしまいますが、社協さんの方で緊急連絡のてびきということで、例えば、  
お病気とか在宅で突発的なことが起こったときのための「緊急連絡てびき」、また、  
私どもの「災害時要援護者台帳」、あと高齢介護課で行っております「ひとり暮ら  
し高齢者台帳」がありまして、今回、様式統合したことによって、どこへ出して  
いただいても、1枚でそれぞれ登録できるスタイルにしたことによって、ひとり  
暮らし高齢者の方については、社協さんの「緊急連絡のてびき」の更新が3年に  
1回となっておりますので、今回、統合様式にした結果、かなりの方の情報が更  
新された形になっている。ひとり暮らし高齢者につきましては、3年に1回更新  
させていただく機会を作ることができました。

しかし、障がい者の方、並びに要介護認定を受けている方につきましては、何  
かしらの形で更新していく必要があり、検討していきたいと思っておりますので、  
よろしくお願ひします。

委員

あくまで、緊急時に即必要な情報であるため、今の説明の中には無かったです  
が、ご不幸にも亡くなった方、市外へ行かれた方等あるかと思うので、窓口サー  
ビスと連携して、いざというときに漏れないようにしてもらいたい。

もう1点ですが、17ページ46番の障がい者のためのパソコン講座の充実です  
が、国の施策であり、パソコンで視覚障がいの方・肢体不自由の方を対象にして  
いるが、聴覚障がいの方については、希望がなかったのか、それともそういった  
方を対象と考えていないのかお聞きしたい。

社会福祉協議会 局長	当初から聴覚障がい者のパソコン教室は開講していない。行政機関と検討をする必要があり、今は、県の身障協会（ソフトピアジャパンの中）でお願いしている。当初から開講していなかったことは問題があると思われるが、聴覚障がいの方がパソコン教室をするということになると、どこがやっていただけるか検討する必要がある。
委員	是非、どなたでも希望されれば講習できる方向でお願いしたい。 以上です。
委員長	他にいかがでしょうか。
委員	<p>1 ページの「地域支え合い体制づくり事業」ですが、各地区センター20カ所に100万円ずつ割り当てて備品を買っていただきました。具体的にはパソコンなりプロジェクター、ロッカー等、これはどこの所属になるかという、あくまでも地区センターの備品にしますと、これは連合自治会の中ではっきりさせました。ですから、いろんなメンテナンスは地区センターの運営費から出すと決定しております。</p> <p>それから、同じページ、まちづくり推進課の自治会への加入促進ですが、午前中に開催された、多文化共生推進計画の会議の中でも、外国人の方々の自治会への加入をどうするのかについて、かなり問題になっていました。</p> <p>続きまして、6 ページの地区センターの利用の促進についてですが、今年、青墓と中川地区が開設されたが、かなりセンターによって利用のばらつきがある。一番多いところで年間8万人、一番少ないところで1万2千人、これぐらいばらつきがある。調べてみると、利用率の多いところはそれだけ努力をしている。例えば、北地区センターは年中無休で火曜日にも休まずに職員間で交替しあって市民サービスしている。だから、8万という方々が利用している。それぞれの地域でセンターの利用アップを考えなければならない。こんなことがあります。青墓地区の方が北地区センターを利用したいという申請があり、青墓地区センターはと聞くと、クリスマス会をやりたいが床が汚れるからということで断られたそうです。床にシートを張るなど知恵を出し合って、もっと地区センターの利用に努めてほしい。</p> <p>以上です。</p>
委員長	他にいかがでしょうか。
委員	5 ページの防犯活動ですが、私どもの北中PTA等はパトロールとかがしていますが、子育て支援課さんの防犯情報のメール配信で、小中学校・幼稚園は充実していると思うが、保育園児だけの保護者の方々の横の連携というか、そういうものが抜けているような気がします。大垣は高齢者の方々もみまもりEyeなどとても充実していますが、特に私立保育園では、以前、保護者会連合会がございましたが、今は保護者会のつながりがないのでは。ですから、小中学校の子どもさんがみえない若い子どもさんのみの保護者の方が抜けているのではないかと。
事務局 子育て支援課長	防犯情報の配信でございますが、市の方では、さわやかみまもりネットで情報配信を実施しておりますが、保育園では、園から独自でメール配信をしてもらっている。

委員	世帯数は把握していますか。
事務局 子育て支援課長	2,690人の方が登録されているが、世帯数までは把握していない。
委員	共働きが多いため、私立（民間）の保育園へ入園されている保護者の方のみが抜けてしまうのではないか。
事務局 子育て支援課長	私立（民間）の方には、民間園長会へ諮りまして、保護者の方への連絡等ができる体制をとれるように提案したい。
委員長	他にいかがでしょうか。
委員	<p>5 ページで、社会福祉協議会さんが企画していただきました災害ボランティアに190名8クールで行かせていただきました。（他の）委員さんも一緒に7クールで行かれました。県内の市町村の中でも、1週間クールで行くのは大垣市ぐらいだったと思います。静岡県ほかでも2～3日ぐらいが多かったのではないかと思います。それだけ現地へ行かせてもらったということはボランティアとして充実しており、貴重な経験もさせていただき、本当にいい企画だったと感じています。やはり、現地を見てくるということは大事なことだと思います。一度行かれた方は、また行ってみたい、その後どうなっているか見てみたいという声があったので良かったと思います。職員の方につきましても、毎回2名同行されましたが、朝から夜寝るまで気を配っていただき感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>それに関しまして、民生委員の方も7名参加されました。強制ではなく自由参加でしたので多い少ないは別にしまして、民生委員の中にもこういう活動をしたということ、「愛のともしび」に載せてあります。ありがとうございました。</p>
委員長	他にいかがでしょうか。
委員	<p>災害ボランティアの反省会でいろいろ聞いていますが、東日本の場合は日本列島を含めてかなりの方が応援に行っている。しかし、おそらくこちらで災害が起こった場合は、そんなに全国からボランティアが集まってこないであろう。ここで大事なことは、我々が、地域の人たちが考えてセンターを早く立ち上げることができるかどうか。おそらく、行政が機能するのはかなり遅いであろうから、地域で守るためにはどうしたらいいかということを経験なり作って働きかけを今からしていかなければならない。</p> <p>この地域で東海・東南海地震が発生するのは80%は確実、向こう30年間までに。起きてからでは遅いため、シュミレーション等を我々社会福祉協議会で作ってみたらどうだと、行政も含めて考えていかなければならないと提案していたところであります。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>委員さん何かいかがでしょうか。</p>

委員 子育ての環境については、充実はしてきてはいますが、子育て家庭が貧困化してきているところがいろいろ問題になっているのを今感じている。私どもの施設にもそういった方が何件かお越しになっており、いろいろな形できめ細やかなサポートの必要性を感じている。

ある意味、行政だ民間だと言っている場合ではない状態が少しずつ起こってきているのが現実で、できる人が始めている形であり、何をどのように提案したらいいかわからない状況の中で、今皆様のお話を聞いていたところであります。

委員長 ありがとうございます。  
他にいかがでしょうか。

委員 よろしいでしょうか。

委員長 どうぞ。

委員 私の方は高齢者のケアマネージャーをやっておりますが、最近、在宅での看取りという話、あと、認知症というのは大きな問題になっていると思います。認知症にしても、在宅で認知症の方を看るといのはすごく大変なので、やはり地域というのは必要になってきますし、自治会・民生委員さんそういったところがもっと充実していただければ、地域で認知症の方が過ごしていただけると思いますので、よろしく願いいたします。

委員長 ありがとうございます。  
他にいかがでしょうか。  
委員さん何かございましょうか。

委員 9 ページの人権のところ、いろいろ啓発活動を行っているという説明がありました。先月もいっこく堂さんをお迎えして人権トークショーを開催して、やはり人権に関心をおもちの方が多数お見えになったようで、応募者が 1,800 ほどありまして、文化ホールには 600 名しか入れませんので、1/3 の方に入場していただきまして、盛大に開催されましたことはうれしく思っております。

それと、私どもでペープサート部会という部会を作りまして、人権擁護委員だいたい 40 名弱がその部に入っていますが、寸劇をいろいろ脚本から全部委員の方が作りまして、今、保育園・幼稚園・小学校・西濃地区、揖斐は行っておりませんが、海津・不破・安八・養老、大垣はもちろんですが、1年に30回ぐらいは啓発に行っております。それで子どもたちが、一生懸命まあ下手な寸劇ですが、人権に対することを少しでも学んでくれたらと思ひまして、これからも続けていくことだと思っております。

委員長 ありがとうございます。  
他にいかがでしょうか。  
委員さんどうですか。

委員 先ほど、災害時の高齢者や障がい者の登録というお話があったと思いますが、この登録台帳とそれから実際に災害が起きたときに、住民票や要介護認定や障がい者手帳の各種情報等をどう使っていくか。登録された台帳だけではやはり漏れがあったり、変更があったり出てくると思ひま

委員

すので、市役所の方で把握している情報をどう使うかということも、きちんと確認をして、個人情報の問題も出てくると思いますが、災害時に限ってどう取り扱うかということもあらかじめ検討していただければいいかと思います。

それから、災害ボランティアの件では、岐阜経済大学でも社協さんに大変お世話になりまして、学生の方も先ほど4名と言われましたが、確か6名だったと思いますが、大変勉強になったと行った学生は喜んでおりました。今の学生はなかなか知らない人と一緒に寝泊りするのにはちょっと…という人が多いのですが、帰ってきたあとは、すごくいろんな方と話ができ、一週間一緒に過ごすことによっていろんな見方が広がって、現場にたって処理する中で、いろんなことを感じることができたと、勉強させてもらったと喜んでおられます。このように、学生が地域の皆さんと一緒に活動することが、非常に素晴らしいことだと思います。今後も、社協さん等といろいろ連携できたらと考えておりますので、よろしくお願ひします。

あと1つ、64番のケアマネージャー研修会の開催ですが、22年度計画ではケアマネージャー研修会は年1回100名でテーマ別研修会は年4回ありまして、実績の方では計画より遥かに多く開催しておりますが、23年度ではケアマネージャー研修会年2回のみとなっています。もしかしたら当初計画がそうになっていたのかもしれませんが、22年度と比べて少なくなっているのは、どのような理由でしょうか。

事務局  
高齢介護課長

ケアマネージャーの研修会の回数でございますが、22年度は年2回とテーマ別は年4回となっております。来年度は年2回となっておりますが、これは当初の計画だったと思いますが、細かい手持ち資料がないため一度調べてみたいと思いますが、今回の実績は計画に基づいた回数の開催だと思っておりますので、よろしくお願ひします。

委員

当初の5年間計画ですから計画に基づいているかとは思ったのですが、テーマ別研修は新たに開催する必要がないということなのか、それとも必要があれば開催するということなのか。400名参加しているので、必要であれば、計画以外でも開催していくのか。

事務局  
高齢介護課長

それぞれ必要に応じて、必要性があれば開催につきまして検討していきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

委員

どうもありがとうございました。

委員長

他にいかがでしょうか。

それでは、ご発言もないようですので、議案第1号「大垣市地域福祉計画の平成22年度実績」について並びに議案第2号「大垣市地域福祉計画の平成23年度事業計画」についてのご承認を求めたいと思ひます。

よろしゅうございましょうか。

委員

異議なし。

委員長

はい、ありがとうございました。それでは議案第1号並びに第2号がご承認いただきました。本日の議事は以上で終了いたしました。事務局のほうにマイクをお返しします。

事務局  
社会福祉課  
説田係長

ありがとうございました。

最後になりますが、事務局から連絡事項 1 点お伝えします。今回、第二次地域福祉計画ということで、冒頭にもありましたが、平成 21 年度から 25 年度までの 5 カ年計画で策定をしまして、今 3 年目ということをお願いしたのですが、平成 25 年度までの計画ということで、当初の計画から 10 年を経過したことになります。平成 26 年度から第三次の計画策定に向けて、平成 24 年度から取り組みを始めていきたいと考えております。

実際の策定作業は平成 25 年度になります。その前に、来年度、今のところの予定といたしましては、市民の皆様の地域福祉に対するご意見・考え方というのをリサーチをしまして、例えばアンケートを実施したり、福祉事業者様並びに福祉団体・ボランティア団体様など、そういった方の福祉ニーズを把握する作業と、前回ですと、地域の地区社協さんからもご協力をいただいて、皆様のご意見を伺ったりということで、準備作業といたしまして、来年度そういった意向で取りかかっていたいと考えておまして、今回の策定・評価委員会の皆様にも、また策定の部分で来年度ご審議いただくこともあるかと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。

以上です。

事務局  
社会福祉課長

それでは、長時間にわたりありがとうございました。

今後、地域福祉事業を着実に推進していきたいと思っております。皆様のご協力をお願いします。

本日はこれもちまして終了させていただきます。

ありがとうございました。

以上